

3月6・7日開催

▼各常任委員会での質疑の主な内容は次の通りです。

総務経済 常任委員会

◎総務課所管

Q 介護休暇と育児休暇の日数に違いはあるのか。

A 違いがあり、前もって申請が必要となる。

Q 消防団員確保のための取り組みは。

A 事業所へ協力要請の訪問、行政区に団員募集のポスター配布、村の公式ラインにて周知を図っている。

Q 各行政区集会所が避難所となっているので、表示看板の作成や発電機を配付できないか。

A 表示板については検討事項としては、発電機については、令和2年度に支給したコロナ交付金を活用し購入している行

政区もある。

◎企画商工課所管

Q 道の駅ひらたの施設管理費を増額した理由は。

A 施設整備から約16年が経過し、経年劣化等による施設の修繕費が主な要因である。

Q 地域おこし協力隊を活用している自治体もある。募集方法などについて町村間で情報共有はしているのか。また、本村の今後の取り組みは。

A 既に着任している協力隊がある程度いると、安心して集まるのではないかと。来年度は委託型を含め、隊員を確保できるように努める。

Q ふるさと納税の返礼品について充実を図られているのか。

A 返礼品は随時追加しており、イベントの入園券など種類を拡充している。直近ではお米を中心に寄付が集まっている。

◎健康福祉課所管

Q 緊急連絡カードのあり方についてどのように検討しているのか。

A 緊急連絡カードの必要性は以前から村でも認めており、カードの内容、保管場所等の協議の準備をすすめている。

Q 带状疱疹のワクチンは5歳刻みでの接種としていますが、効果が5年間持続するという点か。

A 不活化ワクチン2回の接種で10年以上の効果が期待できるという。

Q 带状疱疹ワクチンの接種見込み人数220人の算出根拠は。

A インフルエンザワクチン接種率を参考とした。

◎産業建設課所管

Q 鳥獣被害対策実施隊に有害鳥獣駆除隊は入っているのか。また、今までは隊が蓬田と小平で分かれていたが、今はどう

なっているのか。

A 今年度から有害鳥獣駆除隊は一つになり、全員が鳥獣被害対策実施隊になっている。

Q 未登記事業は令和6年度に何件解消し、現在何件残っているのか。

A 本年度中に11件と軽微な事業において嘱託登記したもの19件、合計30件の未登記解消を行い、現時点で288件になっている。

Q 除雪の基準が役場の駐車場で15cmとこのことであるが、地域によって積雪が多い場所がある。基準について見直しを検討してほしい。

A 現在の基準である15cmから10cmに変更予定である。

Q ライスセンター建設の進捗状況について教えてほしい。

A 令和7年11月を目途に、検討委員会から村へ答申される予定である。国県補助

総務経済常任委員会「報告」

◎現地視察について

令和7年度事業予定の社会資本整備総合交付金事業村道深谷大柿線道路改良舗装工事（西山字深谷地内）など、村内4か所を現地視察しました。次の点について要請します。

▼工事に係る監督業務、竣工検査は万全の体制で実施するとともに、工期の遵守が図られること。

◎請願について

・「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願」 全会一致で採択

・「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願」 不採択

▼少数意見：「請願趣旨のとおりグローバル社会において遅れを取っている日本のためにも賛成」
・「国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願」 不採択

▼少数意見：「請願趣旨のとおり女性の権利、ジェンダー平等を国際基準に引き上げるためにも選択議定書の批准は急務」



乙空釜浄水場



村道深谷大柿線

等を活用しながら令和8年度以降に予算化を検討していく。

◎教育課所管

Q 調理業務を委託した際相応安く落札になったが、現場の職員から人数ギリギリの中でやっており賃金も上がらない。また、学校給食の残り残採が多い話も聞いた。質の低下がないと思うが、残りの期間で委託内容の変更をすることはできないか。

A 契約に特別な条項があれば委託料等の対応はできると思うが、現時点で業者からの打診は来ていないし、こちらから変更の協議を持ち掛けるのもどうかと思う。

文教厚生
常任委員会

◎総務課所管

Q 災害備蓄食料はどのようなものか、また、消費期限が切れた場合は

た場合は。

A アルファ化米、レトルトお粥、パンを予定している。7年ほど消費期限があるものであるが、消費期限が近くなった食品はこども食堂に寄贈する等、廃棄をしないようにしている。

◎企画商工課所管

Q 公社への人件費分の補助の中に、イベント期間中に動員される村職員の人件費も含まれているのか。

A 村職員分については、原則振休で対応しているので含まれていない。

◎住民課所管

Q 防犯灯設置事業費の62万円は何基分か。

A 物価高騰の影響もあるため、およそ13基分である。

◎基金課所管

Q 福島県財政安定化基金充当が、令和6年度36億円から令和7年度は10億円と大幅に減額されている。減額分は村民の負担

になるのか。

A 福島県財政安定化基金は各年度の剰余金が積み立てられ、現在42億4千万円、内10億円が保険料軽減の財源として令和7年度充当される。県は令和11年度を保険統一の目標としており、ある程度基金を確保しておきたい考えのため、県への納付金が増加となり、村の保険税も増加している。

◎健康福祉課所管

Q 新型コロナワクチン接種計画において接種率を3割程度としているが、令和6年度においては何割程度の接種率であったのか。

A 現時点で3割に満たない状況である。

◎産業建設課所管

Q 園芸作物パイプハウス設置事業について、令和7年度の予算にないが要望があれば実施するのか。

A 要望があれば補正予算で対応する。

Q 園芸作物パイプハウスの設置事業の補助の年齢要件で60歳までとなっているが、定年退職後に就農する方が多いと思われるので、年齢要件の検討が必要。

A 定年帰農者も大事であるため、年齢要件について検討していく。

Q 道路工事計画にありながら令和7年度の予算に計上されていない箇所がある。今後実施する予定はあるのか。

A 村の総合的な判断により令和7年度は予算化を見送ることとなった。

◎教育課所管

Q ストレスチェックは全教員対象か。また、その後のフォローは。

A 全員対象で高ストレス者はいなかった。もし発生した場合は産業医等で対応する。

Q 小学校児童数の推移に関連して、7年度に統合委員会を設置する認識で良いか。

A 今後の児童数の推移を参考に、統合委員会を7年度に改めて立ち上げる。

Q スクールバスは3年契約であるが、運行の関係でルートが変わった際の対応は。また、乗降場所は年度で変わるのか。

A 向こう3年間で入学する新入生を含めてのルート設定である。ルートや乗降場所の変更は、児童生徒や保護者に周知している。

文教厚生常任委員会「報告」

◎現地視察について

令和7年度事業予定の屋内ゲートボール場外壁改修工事（永田字戸花地内）、中学校体育館空調設備設置事業（永田字堂作地内）の2か所を現地調査しました。



ひらた清風中体育館



屋内ゲートボール場